

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！  
京都市会議員

発行：2023年9月17日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



# 敬老乗車証改悪の「3倍化」反対署名提出

## 77億円の「黒字」を市民生活にまわせ!!



9月4日に第26次の「敬老乗車証を守ろう連絡会」の皆さんから署名が提出されました。署名提出にあたって、市役所前で集会を開き、市長に向かってシュプレヒコールをした後、署名を提出されました。今回は3087筆が提出され、累計7万1286筆にもなります。これだけ多くの市民の声を聴かない市長と議会の姿勢は重大です。委員会では議会のたびに出される多くの陳情に対して、質問をするのはいつも共産党の委員だけです。他の議員は一言も意見を言わず、ただ「反対」だけでなく、反対の理由をはっきりというべきです。昨年度の決算は77億円の黒字ですから、市民負担増は見直すべきです。これからも声を上げ続けましょう。

### 議員日誌

## 物価高騰対策強化と中小業者への緊急支援策を申し入れ

日本共産党京都市会議員団は、先に申し入れた「物価高騰と異常な酷暑から市民の命と暮らしを守るための緊急申し入れ」に引き続き、9月7日には中小業者への支援策に絞った緊急申し入れをしました。ガソリン代最高値更新や電気・ガス代、食料品の値上げなど物価高騰は深刻な事態となっています。事業者にとってはコロナ対策融資の返済が始まり、更に資材・原材料の高騰で経営が成り立たない事態となっており、抜本的な対策を行うことが必要です。財務省の法人企業



統計では大企業の内部留保は511・4兆円と過去最高となり中小

業者との格差が拡大しています。として以下の5項目の緊急申し入れをしました。

- ▶消費税を5%に引き下げインボイス制度導入中止を国に求めること。
- ▶電気代・ガス代・賃借料など固定費への支援制度を確立すること。
- ▶コロナ対策融資の返済支援を強化するために、相談体制の充実、借り換えや返済猶予など弾力的な運用を行うこと。
- ▶物価高騰に対する賃上げを支援すること。社会保険料事業主負担の軽減に努めること。
- ▶国民健康保険料、介護保険料の負担を軽減すること。

## 中学校給食は自校方式が最良

全国で給食調理業務などを展開していた株式会社ホーユーが自己破産した問題で、全国の学校、寮、役所、自衛隊など様々なところに影響が出ています。特に特別支援学校ではいつもと同じ大きさの食材提供が求められるため、特別の手立てが必要です。また、最近アレルギーを持つ子どもが増える中、命に係わる特別の配慮が必要になっています。

「隠れ教育費」研究室・チーフディレクターの柳澤靖明さんは「学校で給食を実施できなくなるのは大きな問題だ。本来は学校の設置者が提供すべきもの。設置者が直接給食を提供していれば、今回のような問題は発生しない」と指摘します。（赤旗より）京都市が現在中学校給食について調査を行っていますが、京都市が責任をもって自校方式で安心安全な給食を提供すべきです。

さらに日本共産党は  
こんな給食をめざします!

安全で美味しい給食を実現するため、引き続き市民のみなさんと力を合わせます!

